

大原合戦 650 周年

かつて小郡の地で九州南北朝最大の合戦が繰り広げられました。
〜大原合戦〜
南朝、北朝九州をめぐる戦いは、苛烈を極め、死傷した兵は二五、口口人以上に上るといわれます。
そして合戦から六五〇年戦で倒れた多くの兵たちへの鎮魂と今を生きる者たちの平和への祈りを縁の地小郡から発信します。

◀ 菊池武光公銅像（大刀洗公園）



大原合戦とは

大原合戦（大保原合戦とも言う）は、一三五九年（南朝正平十四年 北朝延文四年）八月に懷良親王を奉じた菊池武光を中心とする南朝方征西府軍と、北朝方少貳頼尚軍とが大保原を中心に戦った大合戦で、関ヶ原の合戦、川中島の合戦と並んで日本三大合戦のひとつとも言われています。

南北朝の騒乱を壮大なスケールで描いた中世戦記の傑作「太平記」には、両軍の死者合わせて五、四〇〇人を超える激戦であったと記されています。

合戦の概要

一三五九年七月、懷良親王を大将として、征西府軍が太宰府へ攻め寄せて来るという情報を得た少貳頼尚は、敵を迎え撃とうと筑後に出陣したとされます。

両軍の陣容は

【北朝方】

大将 少貳頼尚（太宰府筑後守）

以下六〇、〇〇〇騎

杜の渡（えずりのわた）し現久留米市宮ノ

陣）を前にして味坂の庄（現小郡市鰯坂）

に陣をとりました。

一方

【南朝方】

大将 懷良親王（征西將軍）

以下四〇、〇〇〇騎

※諸説あり、八、〇〇〇騎ともいう。

は、高良山、柳坂、水繩山の三か所に陣をとりました。

七月十九日に、南朝菊池勢が手勢五、〇〇〇騎を率いて筑後川を打ち渡り、少貳勢に向かって押し寄せました。これに対して少貳頼尚は、応戦せずに約二〇キロほど後退し、大原（現大保原）に陣を取りました。

その後膠着状態が続いた後、八月六日（八月十六日という説もある）夜半、菊池勢は夜襲に慣れた兵を連れて敵の後背に迂回させ、主力の兵七、〇〇〇騎を三手に分け、筑後川の端に沿って川音に紛れて地形の険しいほうから少貳陣に接近しました。



菊池武光公筑後川奮戦図
（菊池神社所蔵）

少貳勢が前方から接近する菊池勢に気づくと同時に後背から迂回した三〇〇騎がいつせいに討ち入り、それに呼応して同時に関（とき）の声をあげ、いつせいに矢を射掛けました。

戦いの終結

こうして、戦いは卯の刻(午前六時)から酉の刻(午前七時)まで(実際は午前二時から午前十時までとも言われる)続きました。少弐勢は、一族の者をはじめ家臣や兵士三、〇〇〇人以上が討たれ、太宰府へ退却しました。

一方の菊池勢も勝ったとはいえ討ち死にしたものは一八〇〇人を超えたといわれます。

大原合戦にまつわる言い伝え

合戦の舞台となった小郡市周辺には、大原合戦にまつわる言い伝えが残っています。

福童の大中臣神社境内にある藤(將軍藤)は、征西將軍懷良親王が大原合戦で大けがをした際、大中臣神社の加護により全快したことに感謝の意を表し、献納の藤の木を手植えたものだと言われています。

また、大原合戦で獅子奮迅の活躍をした菊池武光公が、戦いで使った太刀を川で洗ったということから、現在の三井郡大刀洗町の名前がついたとされています。

その他にも市内各所に合戦にまつわる史跡が残されており、市役所横の東町公園には五五〇年・六〇〇年それぞれに建立された石碑が残っています。

大原合戦 650 周年イベント一覧 平成 21 年 7 月以降開催分

日 時	タイトル・内容	会 場 他
7月25日(土) 13:30~15:00	大原合戦市民歴史講座「大原合戦」	緑の里くろつち会館
7月31日(金) 13:30~15:30	大原合戦市民歴史講座「大原合戦」	生涯学習センター
7月22日(水)~8月9日(日)	記念展示「~九州南北朝最大の合戦~大原合戦展」	文化会館 野田宇太郎文学資料館
7月28日(火)~8月30日(日)	展示会「中世の小郡~人々のくらしと祈り」	埋蔵文化財調査センター
8月2日(日) 13:30~16:00	シンポジウム「大原合戦の実像に迫る」	埋蔵文化財調査センター
7月22日(水)~8月9日(日)	博多山笠飾り山展示	文化会館ホワイエ
7月26日(日)	第1回 南北朝バスツアー	JAみい旅行 ☎73-4198 ※7/26バスツアーは完売しました。
9月23日(祝)	第2回 南北朝バスツアー	
8月1日(土)20:00~20:40	灯明まつり(光と音の饗宴)	大刀洗公園(菊池公園)
8月2日(日)	ふるさと遊覧飛行 あすてらす南広場駐車場~市内(約5分間) 遊覧料金…無料	一般希望者のみ受付 【受付】 あすてらす南広場ヘリポートにて当日8時より受付ます。(先着順)
8月6日(木) 11:00~14:00	高卒塔婆慰霊祭	小郡駐屯地横
8月6日(木) 15:00~式典 16:00~除幕式	記念石碑除幕式	東町公園
8月6日(木) 18:30~19:45	神田紅講談会 チケット1,000円/人	文化会館大ホール
8月6日(木) 16:00~21:00	灯明まつり 灯明をともし、鎮魂と平和への願いを発信します。ステージでは、太鼓や筑前琵琶などの演奏、剣術披露などがあります。露店も出店します。	七夕広場 ふれあい広場
9月6日(日)	大原合戦記念剣道大会	小郡市体育館



大中臣神社 (將軍藤)

平和への祈り

今年は、一三五九年の大原合戦からちょうど六五〇周年を迎えます。市内各団体の有志で実行委員会が組織され、大原合戦の火蓋が切られた八月六日を中心として様々なイベントを計画しています。

遙か六五〇年前に小郡一帯を舞台に繰り広げられた合戦の歴史に思いをはせるとともに、現在のように平和であることの喜び、平和の尊さを改めて考える機会とされてはいかがでしょうか。

「懷良親王と三井郡」、歴史漫画「大原合戦」販売中

大原合戦 650 周年を記念して、上記の冊子を販売しております。この冊子の売り上げは、記念イベントの開催経費の一部として使われます。

「懷良親王と三井郡」…… 個人 5,000 円/冊 法人 10,000 円/冊

歴史漫画「大原合戦」…………… 300 円/冊

問い合わせは実行委員会事務局または小郡市観光協会 (☎ 72 - 4008) まで



「懷良親王と三井郡」

【主 催】 大原合戦 650 周年実行委員会

【共 催】 小郡市、小郡市教育委員会、大刀洗町ほか

【事務局】 小郡市小郡 2413 - 1 ☎ 41 - 2113 (㈱ワイドレジャー内)